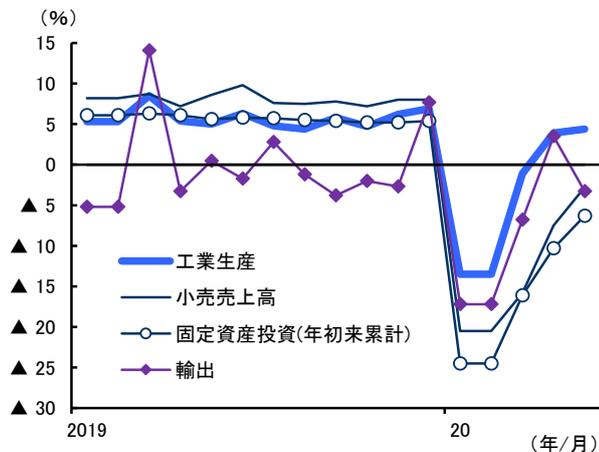


政府主導で中国の工業生産が急回復

～一時的な上振れで、今後再び鈍化する見通し～

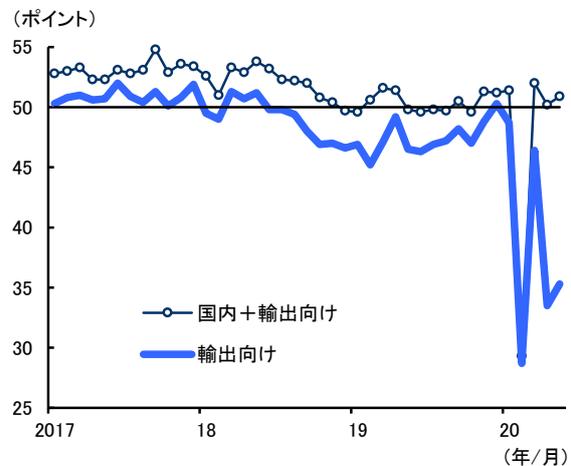
- (1) 中国では、工業生産が前年を上回る水準へ回復（図表1）。政府による経済活動の再開指示が主因。2月半ばから全国各地で操業再開率の引き上げ競争が激化。また、コロナ前に受注した分の出荷により、輸出も持ち直しの動き。
- (2) 工業生産の急回復によって、政府が重要視する雇用・所得環境も急ピッチで改善。2月に発生した出稼ぎ労働者約5,000万人の実質的な失業も、その9割は既に職場に復帰。こうした工業生産の急回復などを受けて、4～6月期の成長率は前年同期比+1.0%とプラス転換する見込み。
- (3) もっとも、先行きは外需の停滞、在庫調整圧力、活動制限の強化が中国経済の足枷に。製造業の輸出向け新規受注PMIは足許で大幅低下（図表2）。輸出は再び大幅減少に転じる見通し。また、製造業の生産増に需要が追いつかず、在庫も急増しているため（図表3）、今後、在庫削減の動きが顕在化。「第2波」の回避に向け、北京市などで活動制限を再強化。これらの結果、年後半の成長ペースはコロナ流行前に届かず（図表4）、2020年は+0.2%成長にとどまると予想。

(図表1) 中国の主要統計(前年比)



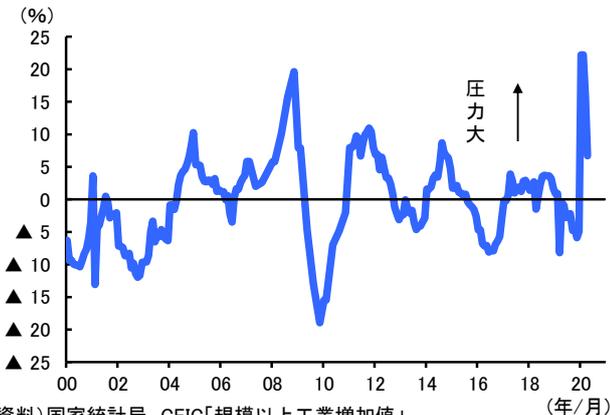
(資料) 国家統計局「规模以上工業増加値」「社会消費品零售総額」「全国固定資産投資」、海関総署「貿易統計」
(注) 1月と2月の値は1～2月の合計。

(図表2) 製造業新規受注PMI



(資料) 国家統計局、物流購買連合会「中国製造業採購經理指数」

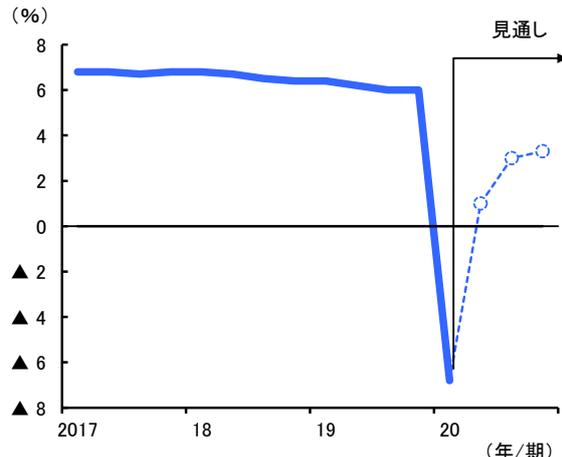
(図表3) 在庫調整圧力



(資料) 国家統計局、CEIC「规模以上工業増加値」「工業在庫」を基に日本総研作成

(注) 在庫調整圧力
= 工業在庫の前年同月比 - 工業生産の前年同月比。

(図表4) 実質GDP成長率(前年比)



(資料) 国家統計局「国民経済計算」を基に日本総研作成

【ご照会先】 調査部 主任研究員 関辰一 (seki.shinichi@jri.co.jp, 03-6833-6157)